

## ～岩手県で一番長いトンネルが貫通しました～

復興支援道路 宮古盛岡横断道路  
一般国道106号区界道路

復興支援道路

## トンネル貫通式および現場見学会のお知らせ

宮古盛岡横断道路「区界道路」（延長約8 km）は、平成32年度内の開通を目指し、地域の方々のご協力により鋭意事業を進めております。

このたび、岩手県内で最長となる「（仮称）新区界トンネル」（延長4,998 m）の貫通にあたり、式典を執り行うことといたしましたので、お知らせいたします。

また、貫通直後のトンネル内をご覧いただくために、報道機関の方々を対象とした現場見学会を行いますので、併せてお知らせいたします。

## 【貫通式典】

- 日時：平成30年 1月11日（木）9：30～（約2時間程度）  
※受付は、9：00から行います。
- 場所：（仮称）新区界トンネル本坑内 宮古市・盛岡市境界地点
- 主催者：鹿島・東急特定建設工事共同企業体
- 内容：貫通式典の詳細については、別途、記者発表を行います。

## 【現場見学会】

- 日時：平成29年12月22日（金）10：00～（約1時間半程度）
- 集合場所：新区界トンネル工事現場事務所【別紙-1参照】
- 内容：新区界トンネル工事現場事務所概要説明の後、マイクロバスにて新区界トンネル坑内を見学いただきます。

注）現場見学会に参加を希望される方は、お手数ですが【別紙-2】に必要事項を記入しFAXにてお申し込み願います（締切り：12月19日（火）17：00まで）。

（参考）宮古盛岡横断道路 新区界トンネル工事 概要【別紙-3参照】

（参考）宮古盛岡横断道路の主な整備効果【別紙-4参照】

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

## 問い合わせ先

## 【式典に関するお問合せ】

鹿島・東急特定建設工事共同企業体

新区界トンネル工事企業体事務所

所長

電話：0193-77-3697

にしかわ こういち  
西川 幸一

## 【事業に関するお問合せ】

国土交通省 岩手河川国道事務所

副所長

工務第二課長

電話：019-624-3131（代表）

としない よしのり  
十枝内 美範  
さきまき みゆの  
佐々木 稔

# 集場所案内図



岩手河川国道事務所 計画課 企画係長あて  
(FAX 019-624-6315)

『報道機関を対象とした現場見学会』参加申込書

会社名	
参加人数	名

(ご担当者) 氏 名 :

電話番号 :

FAX 番号 :

※申し込みは、FAXにてお願いします。

※当日は、本申込書の写しをお持ち頂き提示願います。

※長靴および防寒着は各自ご準備願います。

問合せ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

計画課長 いつかいち わたる  
五日市 亘

企画係長 たかはし まこと  
高橋 誠

電話番号 019-624-3179 (直通)



# 宮古盛岡横断道路 新区界トンネル工事

## 復興支援道路

別紙一-3

### ■ 工事概要

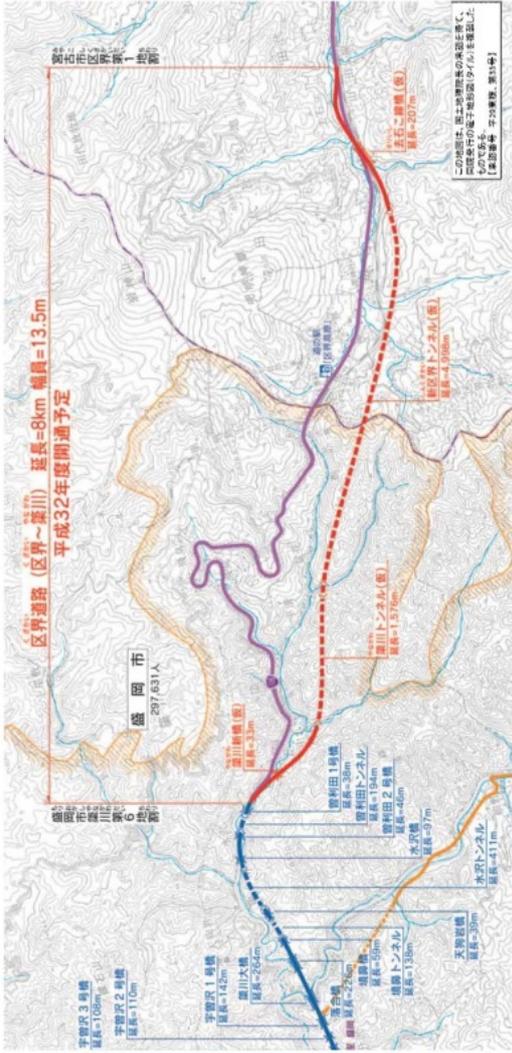
工事名	宮古盛岡横断道路 新区界トンネル工事					
発注者	国土交通省 東北地方整備局					
工事場所	岩手県盛岡市区界～盛岡市					
工期	(前期工事) 平成26年 2月 7日～平成29年 3月31日					
	(後期工事) 平成29年 3月24日～平成31年 3月27日					
工事金額	(前期工事) 16,995,395,760円(消費税込み)					
	(後期工事) 8,162,640,000円(消費税込み)当初契約					
施工者	盛岡・東奥特定建設工事共同企業体					
	管理技術者: 川野 広道					
仕様	岩手県盛岡市区界第2地帯466-2	設計数量	単位	施工数量	進捗率(%)	残数量
本坑	掘削・支保工	4,998	m	4,998	100.0	0
本坑	掘削・コンクリート・防水工	4,998	m	2,606	52.0	2,392
避難坑	掘削・支保工	5,045	m	5,045	100.0	0
避難坑	コンクリート	774,000	m <sup>3</sup>	762,100	98.411	9,900

※施工数量は、平成29年11月30日現在

宮古盛岡横断道路(約66km)の一部をなす区界道路(約8km)は、国道106号の線形不良区間の解消や災害時の緊急輸送道路の確保、救急活動の支援を図るとともに、広域的な交流・連携の促進を目的とする自動車専用道路である。

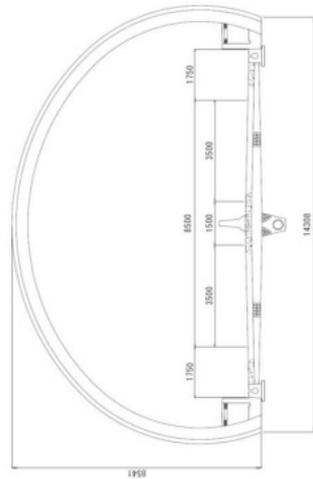
区界道路の延長の6割を占める新区界トンネルは、延長約5kmの長大トンネルであり、岩手県内で最も長いトンネルとなる。最大掘削径は約6.15mであり、最大土圧力は約2500mmである。山体は比較的穏やかな地質となし、低土圧り地形となるよう求めらるる。トンネル区間に分布する地層は、主に石炭紀からアポニットの根田変帯帯に属する岩および石英岩である。トンネルの掘削にあたっては、4切羽で施工することにより、早期貫通を目指した。また、当該箇所は標高が高いことから、凍害対策として、坑口から100m区間に耐凍害性コンクリートを使用している。

### ■ 位置図



### ■ 標準断面図

(本坑)



(避難坑)



### ■ 盛岡側坑口部



### ■ 宮古側坑口部



【別紙一-3】

## 宮古盛岡横断道路は物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援

◆宮古盛岡横断道路の整備による時間短縮(宮古～盛岡間で約30分短縮)、隘路解消により、海産物の鮮度保持や製造品の品質確保が図られ、地域産業の活性化を支援。



宮古市のサケ漁獲量は**本州1位**※

※農林水産省 海産物産量年報統計調査 (H27)



岩手県のコネクタ出荷額は**全国7位**※

※経産省産業省 工業統計 (H26)

## 宮古盛岡横断道路は救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

◆救急搬送では宮古地域からの管外搬送のうち約7割が盛岡市の医療施設へ搬送。宮古盛岡横断道路の整備により救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保。

▼宮古地区の管外搬送先内訳



・時間短縮はH22道路交通センサを基に算出(将来は道路構造に応じた速度で算出)  
※岩手医科大学附属病院はH31移転予定地として算出



資料:宮古地区広域行政組合 消防本部搬送実績 (H27)

## 宮古盛岡横断道路は周遊観光圏域を拡大し観光振興に寄与

◆豊富な観光資源を有する地域間のアクセス性向上により、周遊観光圏域が拡大し、観光振興に寄与。

